



# たもんじ 2021年 11月号

## 交流農園 便い Vol.44



### “つくりつづける” 副理事長退任するにあたって 顧問 坂本武彦

シリーズ:理事長  
(含副)を退任して

東向島駅前商店街の理事長の時に電波塔(現在のスカイツリー)建設の話が決まり、区商連からの100年に1度の絶好の機会を逃さず区内の発展の為の行動を起こすべきとの話に賛同、近隣商店街・町会・図書館・高木先生他約20名で2007年「寺島・玉ノ井まちおこし委員会」を発足した。

現在の玉ノ井カフェをお借りしている坂口さんのご好意によりそこを拠点に、当初遊郭跡を歴史の遺産として保存することや、永井荷風・滝田ゆう等の文学路線を模索したが、明るい先が開けなかった中、高木先生から1990年以前にこのまちで盛んに栽培されていた『寺島なす』を復活させて

はどうかという案が出された。まず種探しから始め、つてをたどってJAの大竹さんに辿り着き、三鷹の農家の星野さんから接ぎ木苗を分けて頂くに至った。そして2011年、初めてなす苗頒布会を実施すると共に、駅前プランターで栽培を始めた。すぐメディアから取材の申込みがあり、地域でまちおこしに取り組んでいる様子を新聞・テレビ・雑誌等、3~4社に取り上げて頂いた。

2014年「寺島・玉ノ井まちづくり協議会」に改め、寺島なすを使った料理や菓子を置いて頂くよう、お店等に働きかけた。20件程の賛同があり「N級グルメ」ステッカーを貼ってもらい、冊子を発行するまでになった。それが評価され、東京都で5つの商店街しかもらえないグランプリを獲得した。しかし寺島なすの安定供給ができないことがネックになり、一部店舗を除き頓挫した形で現在に至っている。この件では中小企業診断士の方々に打開策を検討して頂いており、期待しています。



2015.11.27

一方、廃校の向中に農園を作りたいと区長・副区長・議長に請願を行ったが、なかなか良い返事がもらえない中、2017年、多聞寺さんから頂いた農園造りの話は願ってもないことでした。NPO法人となり、開発に三年を要しましたが、会員の皆様のなみなみならぬ努力のおかげで、立派な農園になり感激です。



寺島なすの育成については、初年度は水やりと管理はしっかりやっただけでしたが、八百屋の阿部氏によれば売物にはならないという評価でした。二年目は土づくりが大切と知り土づくりと肥料を勉強しましたが初年度より良かった程度で、三年目は追肥の大切さ、切り戻し等多少はわかってきたように思いますが、依然頭の痛いのが病虫害の管理です。

野菜を育てるのは簡単ではなく、奥が深い。これからもまだまだ覚えること、試してみること、学ぶことが沢山あると思われます。『寺島なす』は地域の財産であり大切に残し発展させたく思っています。組織をつくり、農園をつくり、そして寺島なすをつくって来ました。副理事長は退任しますが、引き続きつくりつづけていきたいと思っています。有難うございました。

## 11/3(水祝)青果リレー走り切る!! 「トーチなす」大絶賛!!

江戸に浸かるスピニアウト企画としての「青果リレー」と途中13カ所で寺島なすの「トーチ



青果リレー隊は行く!



ポーズ!!



点火(点火)!!



トーチン

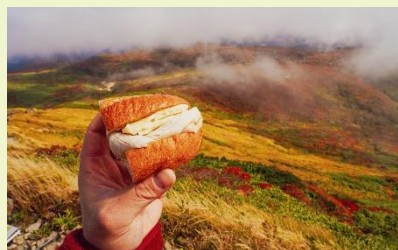
」を受け渡す「トーチなす(トーチキス改め)」が実施され、児童館・デイサービス・商店街の方々に大絶賛、人と人を繋いだのみならず、来年にも繋ぐことができました。



# 第18回 今、ハマっています!

GRAB and GO GOODIES  
石橋さんの場合

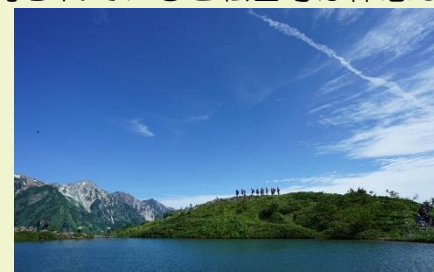
いつもお世話になっております。クラブアンドゴグッディーズの石橋と申します(区画 12-1①)。日に日に秋が深まる季節となりましたが、たもんじ交流農園の皆様はいかがお過ごしでしょうか。私はコロナが一気に落ち着いてきたので、最近は不要不急の外出をする機会も増えてきました。しかし、落ち着いたコロナがまた増えるのではないかと心配しながら過ごしています。



山頂で食べるサンドイッチは最高!!

さて私が今、一番ハマっているものは「登山」です! 登山の楽しみ方は十人十色ですが、私は、山頂や稜線から見る景色を見る事と、頂上での素晴らしい景色を楽しみながらの食事です。登る時に辛ければ辛いほど、頂上から見る景色の感動量は大きくなります。途中で何度も下山したくなりますが、そこは自分に負けずに一步一步登っています。登山は肉体的にも精神的にも強くなると私は思います。山は決して逃げないので、自分が逃げない限り一步一步登って行けば必ず頂上に到達できるのです。

また、森林浴という言葉があるようにリラクゼーション効果も得られていると私自身は体感して感じています。日常では、常に何かしらの「音」が耳から入ってくると思うのですが、山では無風で野鳥なども鳴かない時にだけ、「無音」の時間が流れるのです。僕はこの時間を「ノイズデトックス」と勝手に名前を付けて楽しんでいます。



これぞ! ノイズデトックス!!

山の魅力は沢山有って、星空・春夏秋冬ごとの表情・日の出、などなど紹介しきれないのでこちらへんで終わりにしたいと思います。最後まで読んでいただきましてありがとうございました。

## “てらたま農園部から”

### 第4回 ~プランターの寺島なす~

東向島駅を降りると右側に、茄子の介の銅像を飾った舟形の鉢と共に寺島なすが目に入る。線路沿いに歩道左側を少し行くと、プランターに同じくなすが9苗育てられている。5月から10月いっぱい葉が繁り、寺島なすが道行く人に季節の風をなびかせている。



写真:平田美恵子さん

プランターなすの手入れは3, 4人で協力しているが、町の人々と恰好の交流の場だ。朝の通勤時は皆さん脇目もふらず足を運んでいるが、唯一保育園児は面白い。「ナスだよ~」「小さいのと大きいのがある~」と足を止める。親は相槌を打ちながら、急ごうとするが子どもはそうはいかない。覗き込んで動かない子もいる。そんな時は親の心中を察して、ハサミでなすを採り、「寺島なすよ、帰ったらお母さんに作ってもらってね」と渡すと、顔が明るくなり振り返りながらバイバイする。年輩の方から話しかけられると、世間話に発展することもある。プランターは江戸野菜・寺島なすの優秀な広報部員かもしれない。

水ロアドバイザーご指導日: 11/21(日) 12/12(日) 各 10:00~

農園部作業日: 毎週日曜 9:00~

**11/21(日) 芋煮鍋 BBQ 大会 11:00~14:00** (雨天中止)、感染防止対策に留意しつつも、久々に顔を合わせて、熱く語りあってみませんか。農園会員様は勿論、たもんじ交流農園に関わり合いのある方どなたでもご参加OKです。参加費: 500円/人(中学生以下無料、農園会員は2名まで無料ご招待)。マスク着用、ソーシャルディスタンス確保でお願いします。



たもんじ交流農園便り  
No.44-般 2021.11.22 発行  
題字 田村風来門  
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会  
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)  
セブン-イレブン記念財団



Facebook